

学校選びや子育てのヒントがいっぱい!

人気中学校 校長先生インタビュー

子どもの頃のエピソード、思春期の葛藤、

教師になるまでの道のり……。

学校説明会ではなかなか聞けない話が満載の校長先生インタビュー。

最後に語られるのは、

学校や教育、そして生徒たちへの熱い想いです。



interview
#2

共立女子
中学高等学校
景山 誠 校長先生



サレジアン国際学園
中学校高等学校

宗像 諭 校長先生

interview
#1



多様な個性と出会える環境で
自分だけのリーダーシップを
生徒たちに見つけてほしい。

絵本好きな幼稚園時代と 外遊びが好きな小学校時代

生まれは、東京都文京区です。家族は両親と妹の4人で、祖父母とも一緒に暮らしていました。当時の文京区は今のようなビルもほとんどなく、落ちついた環境でした。幼稚園の頃はあまり社交的ではなく、集団生活は苦手でした。外で遊ぶよりも家で絵本を眺めるのが好きな子どもで、図鑑などのシリーズを集めていました。親からは、「周囲と馴染まない様子を心配して、「お友だちと遊びなさい」と公園の砂場などに連れて行かれたこともありますが、それが苦痛だったのを覚えています。

ところが、小学校に入ると今度は逆に野球など友だちと外で遊んでばかりになり、家中で勉強をしたりゆったり過ごしたりすることが嫌で、学校か

ら帰るとすぐに外に飛び出していくようになります。おかげで、自然に社会性などが身につきました。

この頃の経験は、現在の私の人間観や教育観のもとになっています。本人が嫌だと思うことは無理にやらせても身につきません。やりたいことをやって、伸ばしていくことが理想なのだと考えています。

周囲との人間関係の築き方は大きく変化しましたが、幼い頃から変わらないのは「生き物好き」ということ。家で小鳥をずっと飼っていましたし、小学生になつてからはイヌも飼うように。家の庭の池に春になるとカエルが卵を生むので、オタマジャクシを捕まえて育てたりもしていました。たくさんのおもちゃがいる上野の動物園や、化石や動物の剥製がある科学博物館に行くのも好きでしたね。

この「生き物好き」は、私の「不思

大学卒業後に 学びたいことが見つかる

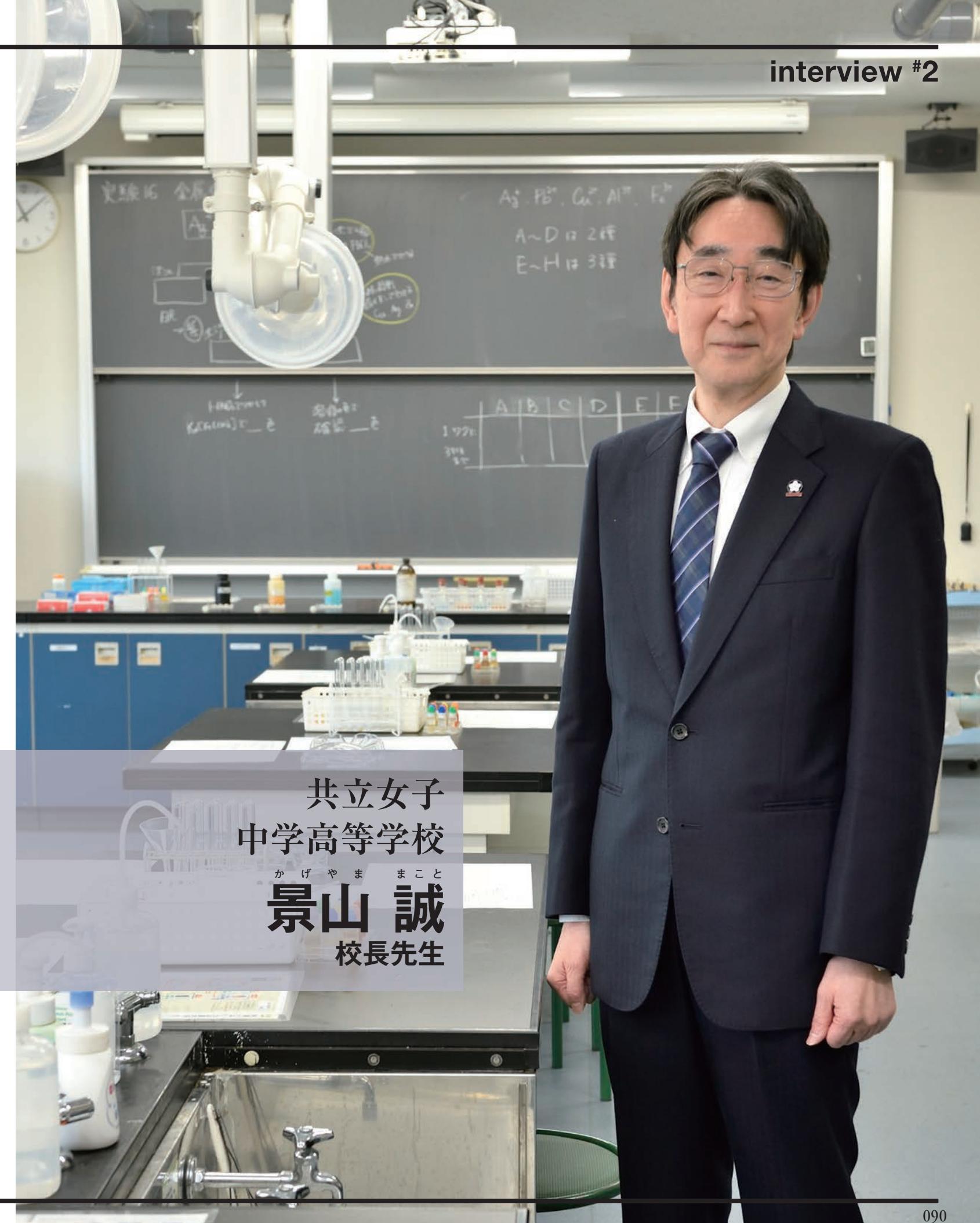
中学校は地元の区立、高校は都立の公立校に進みました。中学ではS.F.小説に夢中になり、ほかにもファンタジーやホラーなど好きな本を読みふけるなど趣味を中心にして過ごしていました。しかし、当然、高校受験を前に、勉強にも力を入れざるを得ない状況になります。勉強は嫌いではありませんでしたが、私は新しいことを教えられ



就任直後、旧校舎の職員室前
で。生徒たちに囲まれて撮影。

album
full of
memories

共立女子
中学高等学校
かげやま まこと
景山 誠
校長先生



0名、全校生徒1920名といつても多くの生徒が集つ学校です。教員や職員などを含めると、2000名以上の人々との学校生活の中で、生徒たちは他者の関係構築や適切な距離感の調整を自然と身につけていきます。この環境をさらに活かす形で、お互いの個性を活かしたチーム運営をする力や主体的に課題解決に向かう主体性（エーゲンシイ）を育てていきます。

景山先生が教える

子育てのヒント

子どもの成長と 併走する気持ちで 親も進んでいきたい

子どもは親とは別の人間です。幼い頃は何でも子どもとわかり合えていたとしても、成長するに従って親の知らない姿が増えていきます。ショックを受けることもありますが、100%子どもを理解することや「親の考える幸せ」を子どもに求めることは諦めて、子どもの成長に伴走する気持ちで向き合ってください。私自身子育ての中で、こうした理想を実践できていたわけではなく、特に受験期にはあれこれ口を出したくなりましたが、最初から完璧でなくとも構いません。少しづつ子離れをしてください。



コロナ禍での理科実験の様子。共立の理科は実験を多く取り入れている。

0名、全校生徒1920名といつても多くの生徒が集つ学校です。教員や職員などを含めると、2000名以上の人々との学校生活の中で、生徒たちは他者の関係構築や適切な距離感の調整を自然と身につけていきます。この環境をさらに活かす形で、お互いの個性を活かしたチーム運営をする力や主体的に課題解決に向かう主体性（エーゲンシリー）を育てていきます。

を入れて いるのは、「共立リーダーシップ」を軸にした、中高一貫の独自プログラムを構築することです。

「共立リーダーシップ」とは、今までの一人が集団を引っ張るリーダーシップではなく、多様な個性の集団の中で一人ひとりが自分の役割を見つけ、授業や部活、学校行事などの学校生活の中で發揮することを目指して、2022年度から掲げてきたものです。

共立は「東京一出会いの多い女子校

教務主任、副校长を経て、2021年4月から校長になりました。今、

「ば良いのか」を伝える機会を増やしていきました。授業のやり方に正解はありません。しかし、私は、「生徒が自分で考え、決め、行動する」指導に重点を置くように意識して授業に取り組むようになったのです。

とで、初めて「尋問」に触れたところ
に迷ひついためにほゞのまゝに考え方

までは次に進めない性分で……。けれど、自分の思索に集中している間も学校の授業はどんどん進んでいくためにペースが合わず、もっぱら教科書や参考書を使って独学で学ぶことがほとんどでした。

進路選択については、どの科目も楽しく勉強をしていたことから決められず、「テストの点数などから『理系が向いているかもしない』と文理の選択だけはしました。しかし、そこから先はどの分野もおもしろそうで絞りきれず、大学受験の際の志望先是物理学、電子通信学、生物工学とぼんやり。結果、最初の受験では合格できず、1年の浪人生活を経て筑波大学生物学類に進み、微生物生態学を専攻しました。そして、卒業研究などを通して、尊敬する研究者の方々のお話をうかがうこ

少年志易學成才
輕人言不輕子也
夢得外根葉已秋聲

「五十の手習い」で始めた書道。
「少年老い易く……」。

album
full of
memories

実感が生まれました。

卒業後は、一日は一般企業に就職し、営業の仕事に就いたのですが、そのうちに「人についてもっと学びた

とができたわけです（笑）。

その後の進路として、そのまま臨床心理学の方面に進むことを漠然と考えていましたが、所属した研究室が神奈川県の公立中学校と共同で授業改善研究を行つており、そこから教育現場へ深く

A portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is seated with his hands clasped. A small pin is visible on his left lapel.

本校で学んだ生徒たちを
「大丈夫」と自信を持つて
社会に送り出しています。

は「将来どのような場所・場面においても、輝き、羽ばたくことができる女性を育てる」という思いは本校の建学時と変わることはなく、ただ自立して生きるために必要な知識やスキルが変化しているだけです。「リーダーシップ開発」や「課題解決型授業」など、現在中高一貫のプログラムの骨組みはほぼできつつあり、今後は内容のアップシミュアップを進めていきます。

私が共立の生徒たちに思うことは、自信を持って巣立つてほしいこと

「大丈夫」と伝えていきます。

先行きが不透明な社会ですが、共立の生徒たちには今まで身につけた知識や技術があります。学校行事などの場面で仲間と力を合わせ、主体的に社会に参画してきた力は折り紙つきです。ですから、「大丈夫」と背中を押します。学んだ力をいろいろな場所で発揮して、社会全体を動かす一人になることを願っています。

ぐ】】答えを教えるのではなく、「答え

教員になつたばかりの頃は、いかにわかりやすい授業をし、生徒たちに効率的に学んでもらおうかということに重点を置いていました。大学院で学んだ応用行動分析学などをもとに、曖昧さをなくし簡潔に伝え、生徒に行動してもらうことで定着を図り、的確なフィードバックをすることで各自の能力を伸ばしていく二つの手法だけ。まだまだ

アメリカ等の教育現場で取り入れられているメソッドで、本校でも一定の成果がありました。

ただ、実際の教育現場で生徒たちと接する中で、これで良いのかという疑問を持つようになりました。決定打となつたのが、定期試験前に質問に来た生徒の言葉です。質問に応じて答えを教えたあと、「なぜそうなるのか」を解説しようとしたところ「テスト前ですから答えを丸暗記したいので、解説はしないでください」と断られてしまつたのです。普段は考えることを厭わない、思慮深く優秀な生徒という印象を持つっていただけに驚きました。

それから、授業ごとに生徒こうこう

た。その経験がきっかけで、教員を目指すようになったのです。しかし、大学時代には教職課程を取っていなかつたので、1年余分に大学院に残り、修了後、本校の理科教諭に着任しました。

わかりやすい授業から「なぜ」を考える授業へ

アメリカ等の教育現場で取り入れられているメソッドで、本校でも一定の成果がありました。

ただ、実際の教育現場で生徒たちと接する中で、これで良いのかという疑問を持つようになりました。決定打となつたのが、『用試金箱』(更に)です。



022年から掲げているのが「共立リーダーシップ」です。誰もが集団の中で自分らしいリーダーシップを発揮できる、新しいリーダーシップ教育としてのプログラムを実施しています。その成果が実り、論理的思考力、表現力、創造力などを養い、プレゼンテーションスキルの向上を図ることを目的とする「プレゼン甲子園」では高校2年生の生徒が決勝大会へ出場、2位に入賞しました。

ほかにも、礼法の授業や、全国でもめずらしい能楽の部活など日本の伝統的な学びを大切にする一方で、ICT教育やグローバル教育をはじめとする先駆的な教育にも力を入れています。

また、併設校である共立女子大学とさまざまな連携を行い生徒の興味の幅を広げるほか、東邦大学理学部とも高大連携協定を締結し、東京電機大学を始め、さまざま大学の協力の下、サイエンス講座やイベントを数多く実施するなど、理数系進学希望者の学びを後押ししています。

これまでも政治や経済、芸術、文学など幅広い分野で著名な卒業生を数多く輩出してきた同校。新たなリーダーシップ教育の拡充と共に、より多くの生徒がそれぞれの輝ける場で活躍していく未来が拓けていくのではないでしょう。

重厚な外観の中高校舎棟は、東京タワーの設計者である内藤多仲博士が手がけた共立講堂と共に、同校の歴史と伝統を物語る存在となっています。一方、校舎内部はICT機器など最新の教育設備を整えるほか、生徒が生活をする場としてゆとりを大切にしており、食堂やラウンジ、オープンスペースなどが設けられています。また、同一敷地内の共立女子大学と一部施設を共用しており、都心にありながら体育館やグラウンドなどの体育施設も充実しています。

同校は完全中高一貫制で、中学1年生から高校1年生までの前半4年間で基礎力を育て、後半2年間で実践力を育てる4+2のシステムをとっています。そんな中、大きな特色として挙げられるのが、「東京一出会いの多い女子校」をうたう生徒数の多さです。多様な個性を持った多くの生徒が集まり学校生活を送ることで、自分と異なる意見や考え方を理解し、協働する経験を積み重ねることができます。そうした中で、同校が2



1. 東京電機大学の協力の下、実施した中高大連携講座「ダンボールチェアをつくろう」。
2. 多彩な部活動があり、参加率は中学校で約95%。太極拳部、能楽部など、めずらしい部も。
3. 生徒のリーダーシップが大いに発揮される文化祭（共立祭）。
4. 修学旅行では九州を巡り、見解を広めて友人とのより良い関係を築く。
5. 小笠原流礼法を基本とした動作や礼儀・マナーを学び、気品ある女性としての素養を身につける礼法の時間。
6. 代々木体育館で行われる体育祭。クラスごとに違う色のTシャツを来て、元気いっぱいに体を動かす。
7. 美術の授業では、創造する楽しさも学ぶ。
8. 竣工は1938年で、さまざまな文化行事が行われてきた歴史ある共立講堂。
9. 福井県で行われたプレゼン甲子園での決勝大会の様子。

共立女子 中学高等学校

「誠実・勤勉・友愛」の校訓のもと、時代を超えて「輝き、羽ばたく女性」の育成を目指す、同校の教育を紹介します。

所在地／東京都千代田区一ツ橋2丁目2-1
TEL／03-3237-2744
アクセス／東京メトロ・都営地下鉄神保町駅から徒歩3分
<https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/chukou/>

**school
information**

共

立女子中学校を含む、共立女子学園の始まりは、1886年に「女性の自立と自活」を目指して創立された共立女子職業学校で、2026年には創立140周年を迎えます。